

鶴岡・田川 水稲直播情報

第 2 号

令和 6 年 5 月 16 日
庄内総合支庁農業技術普及課
(TEL 0235-64-2103)

※播種期以降、気温が高く経過し、イネだけでなく雑草の生育も早まっています。
イネの生育を確認し、遅れずに水管理及び除草剤散布を行いましょ！
※向こう 1 か月の気温はかなり高くなる見込みです(仙台管区气象台 5 月 16 日発表)。
こまめな水管理で土壌の異常還元(ワキ)を抑制し、初期生育を確保しましょ。

1 鉄コーティング湛水直播栽培の水管理と除草剤散布

- 播種同時または播種直後に初期除草剤を散布した場合は、7日間止水した後、落水または
間断灌水で出芽を促進させます(落水する場合は、圃場表面が乾かない程度で)。
- 出芽確認後は浅水管理を基本とし、イネの生育を確認後、雑草発生前に初中期一発除草剤
を散布します。ワキ抑制のため、できれば初中期一発除草剤散布前に 1 度水交換をしましょ
う。
- 初中期一発除草剤散布後は、7日間の止水期間終了後、浅水管理を基本とします。
ワキが強まる頃に、水交換・夜間落水・2～3日程度の田干しを行います(下図のイメージ)。

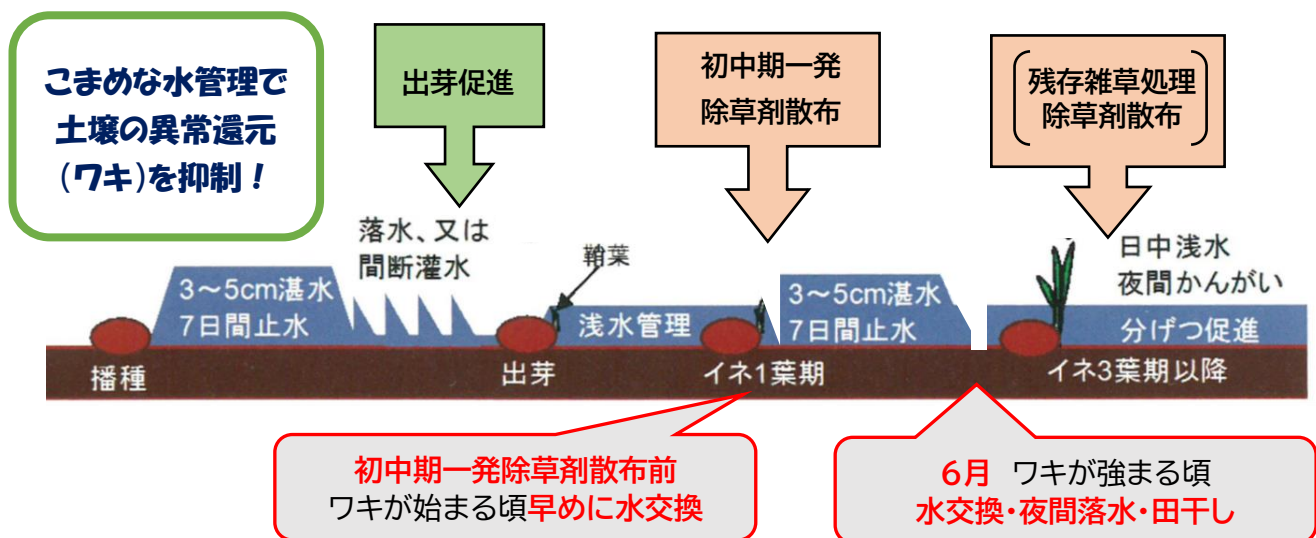


図 ワキ対策を兼ねた水管理のイメージ

2 水交換や田干しをしても茎数が不足した場合の追肥対応

- 3葉期に茎数を確認し、目標下限に達していない場合は追肥を行います。
追肥の目安と量: 3葉期 80本/m² 未満 ⇒ 窒素成分1.0kg/10a
(目標茎数 80～120本/m² ⇒ 追肥なし)

熱中症対策をして農作業を！ < 春季農作業事故防止運動 4/1～6/10 >
～ 農薬を使用する際は農薬の使用基準を遵守し、適正に使用しましょ ～